

# 「全国は一つ」で 650 万票、比例 5 議席実現を 参院選勝利・近畿FAXニュース

2013.4.10 No.5  
近畿ブロック事務所 06.6764.9111

## 生の声受け止め、6代の首相と正面論戦 迫力ある論戦 委員会室の空気がピーンと

山下よしき参院議員秘書 有馬正秀

山下よしきさんの国会秘書・有馬正秀さんに山下さんの国会論戦を紹介していただきました。

こんにちは、参議院議員山下よしき秘書の有馬正秀です。いつも近畿の皆さんには大変お世話になっています。私は、国会で山下議員といっしょに活動して6年になります。

この間、山下さんは、子どもの貧困、保育所、公務員の賃金引下げや自治体職場の非正規雇用、郵政、震災復興、大企業のリストラ・雇止め、橋下「思想調査」など労働者の声、国民の切実な要求を首相や大臣にぶつけてきました。

### ■労働者にかげがえない議席

ソニーを計画撤回に追い込んだ震災被災地の雇い止め問題。宮城県に行って津波で甚大な被害を受けた中小企業の社長さんと会い、営業再開が見通せない中でも従業員を解雇せず頑張っている地元企業の誇りと苦労を伺い、期間工の方の訴えも聞かせていただきました。その訴えをしっかりと受け止めて、質問の準備をしました。

ソニーとたたかった22人の期間工の一人、小高洋さんは「参議院予算委員会での国会質問は圧巻でした。被災地宮城でのソニーの非正規社員の大量雇止め問題。傍聴席で涙が止まりませんでした。山下さんは、非正規という立場でも、誇りをもって働いた私たちの悔しさを丸ごと受け止め、国にぶっつけてくれました」と語っています。

山下さんは、「人間は経験があるからたたかうではありません。勝利が約束されているからたたかうのでもありません。理不尽な攻撃を人間として許すことができないから立ち上がるのです。そして、そのたたかう姿に多くの人間が共感するから、大きな運動、世論となり、勝利の道が開かれるのです。こんなすばらしい若者たちと、ともにたたかえたことを誇りに思います」と話しています。

世界トップの空調機メーカー・ダイキン工業堺製作所で200人の期間社員が雇止めされた問題を取り上げた質問。「非正規労働者であった私にとって山下さんの一言ひとことに魂がこもっていると感じました。まさに、言霊だったと思います。ありがとうございました。感動しました」、「生中継見ました。ダイキン工業の地元住民として、注目していました。(そうやそうや！と言いながら。)タイムリーな質問！カッコいい！よっしゃ！時間が短すぎ！超緊張するでしょうね」など、電話やメールで多くの激励が寄せられました。山下さんの議席は労働者にとって、かけがえのないものです。



## ■医療関係者と共同広げる

兵庫の県立こども病院のポートアイランド移転問題では医療関係者との共同を広げました。県保険医協会・副理事長医師吉岡巖さんが「兵庫県は、県立こども病院を現地の高台から、大災害による孤立化が懸念される人工島への移転計画をこり押ししており、私たち保険医協会は大反対しています。県医師会をはじめ山下議員が現地調査され、移転先であるポートアイランドの問題点を追及していただきました」と述べているように、医師会をはじめ関係者から評価されました。

## ■検討重ね研ぎ澄ませた橋下「思想調査」質問

橋下徹・大阪市長による「思想調査」問題は山下さんのブログに詳しく紹介されています。参院予算委員会の基本的質疑で、憲法と日本の民主主義の根幹にかかわる問題として正面から取り上げました。一問一問、事前に何度も政府からレクチャーを受け、大阪市の「思想調査」を擁護するような答弁が絶対に返ってこないよう研ぎ澄ませたものです。憲法と民主主義にかかわる質問なのでいつもの何倍も慎重に検討を重ねました。

委員会室の空気も、はじめは静寂でしたが、「思想調査」(大阪市「職員アンケート調査」)の内容をパネルで紹介したあたりから、他党議員から驚きと「やりすぎだ」の声が上がるようになり、最後は「そうだ」と応援してくれるようになりました。

大阪から傍聴に来てくださった皆さんからは「今後の運動の力になる」「いっしょにたたかっている人たちに大きな励まし」などの感想をいただきました。テレビを見た全国の方から共感と激励の電話もたくさんありました。大阪府労働委員会は、橋下市長が行った「思想調査」アンケートを「不当労働行為」と認定しました。一緒に質問準備に携わった一人として感無量でした。

山下さんは、「あったかい 人間の連帯を 国の政治に」をモットーに、みなさんの思いを胸に刻んで、福田、麻生、鳩山、菅、野田、安倍と6代の首相、大臣と論戦してきました。一回一回の質問が真剣勝負です。現場の調査を丁寧に言い、生の声をしっかりと受け止め、真正面から論戦を挑んできました。その質問は、具体的で迫りに満ちたものであり、委員会室の空気がぴーンと張り詰めます。論戦の鋭さは誰もが認めています。

## ■引き続き国会で活躍できるようご支援を

山下さんは1995年、大阪の皆さんの頑張りで国会におくりだしていただきました。35歳という若さでした。落選中は、大阪・和歌山・奈良・兵庫・滋賀を隈なく回り、地元の議員、支持者のみなさんから話を聞かせてもらい、一緒に行動することができました。比例代表として国会に戻していただき、この6年間、近畿のみなさんの思いを胸に力いっぱい働くことができました。

いま書記局長代行として、参議院選挙を勝ち抜くために全国を駆け巡っています。多忙な毎日で、時間的にも近畿のみなさんと直接お会いすることが限られています。近畿のみなさんお一人お一人が「おらが候補」として頑張っていただければ何よりだと思っています。

古い政治を大もとから変える日本共産党が参議院選挙で前進することがカギです。近畿のみなさんのお力で比例を大きく伸ばし、山下議員が引き続き国会で活躍できるように、大きなご支援をお願いいたします。